

# 小倉薬剤師会 2月学術研修会のご案内

謹啓 先生方におかれましては 益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。  
さてこの度、下記の要領にて小倉薬剤師会学術研修会を開催いたします。  
ご多忙中、誠に恐縮とは存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席頂きますよう  
お願い申し上げます。

謹白

記

【日時】 2018年 2月27日 (火) 19:00～

【場所】 小倉薬剤師会館 3階 研修室  
北九州市小倉南区富士見2丁目8番20号

【製品紹介】 19:00～19:15 レトロゾール錠2.5mg「ヤクルト」の特徴について  
株式会社ヤクルト本社

【P S】 1. ヒューマニズム (倫理) : ①-1  
2. 医薬品の適正使用 (安全性、経済性) : ②-104・105・106・107・108 ③-26・36  
4. リスクマネジメント : ①-4

【特別講演】 19:15～20:15

座長 学術委員会 稲田 喜久

『切除不能進行再発大腸癌の全身化学療法

治療ゴールと Biomarker に基づく治療選択』

演者 独立行政法人国立病院機構小倉医療センター

外科医長 豊福 篤志 先生

<講演会要旨>

大腸癌化学療法は様々な薬剤が承認され変化している。

長らく大腸癌化学療法は5FU/LVの時代が続いていたが、イリノテカンとオキサリプラチンが組み合わせられ、FOLFIRI や FOLFOX といったレジメンでの治療が主流となった。その後、様々な分子標的薬も登場し生存期間も延長されている。さらに近年、抗 VEGF 阻害薬としてベバシズマブに加えてラムシルマブ、アフリベルセプトベータが新たに選択肢に加わった。その他、レジメンも内服薬が組み合わせられ様々に変化している。ガイドラインを中心にそれぞれの薬剤、レジメンについて解説する。

共催：(一社) 小倉薬剤師会  
株式会社ヤクルト本社